

平成19年度「定置用燃料電池大規模実証事業」における助成金交付の決定について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、財団法人新エネルギー財団が独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構から助成を受けて実施する「平成19年度定置用燃料電池大規模実証事業」において、本日、34台分の助成金交付の決定を受けました。
2. 本年度は、東芝燃料電池システム株式会社製の家庭用燃料電池システムに加え、新たに三洋電機株式会社製も取り扱うこととし、当社の家庭用燃料電池システム「JOMO ECOCUBE」は2機種体制となります。本年7月上旬から来年2月にかけて設置していく予定です。
3. 「JOMO ECOCUBE」の仕様は次のとおりです。
 - (1) 東芝燃料電池システム株式会社製
 - 定格発電容量: 700W
 - 定格発電効率: 30%以上 (HHV)
 - (注) HHV
Higher Heating Value(高位発熱量)の略。
 - 定格総合効率: 65%以上 (HHV)
 - サイズ: (本体) H 895 × W 870 × D 330 (mm)
 - (貯湯槽) 200リットル
 - 重量: (本体) 120kg
 - 燃料: LPG
 - (2) 三洋電機株式会社製
 - 定格発電容量: 750W
 - 定格発電効率: 34% (HHV)
 - 定格総合効率: 76% (HHV)
 - サイズ: (本体) H 1,100 × W 931 × D 341 (mm)
 - (貯湯槽) 200リットル
 - 重量: (本体) 150kg
 - 燃料: LPG
4. なお、当社は、平成17年度および18年度の本事業において、70台分の助成金交付を受け、すべて設置を完了しております。

以上